

山梨の土地改良

VOL.

171

2018.11



CONTENTS

第10回やまなし農村風景写真コンクール 季節賞(秋) 大柴 力 様「今年も豊作」撮影場所：北杜市

“先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に――

水土里の絆 復興の歩み”

第41回全国土地改良大会 宮城大会 ――― 1

山梨県農業農村整備推進協議会要請活動 ――― 2

平成30年度山梨県農業農村整備推進協議会

表彰式及び総会 ――― 3

農業農村整備の集い ――― 4

平成30年度 第1回農業農村整備技術研修会 ――― 4

平成30年度 土地改良区等役職員研修会 ――― 5

換地計画実務研修会 ――― 6

やまなし水土里ネット女性の会 総会 ――― 6

農業農村整備関係の平成31年度予算概算要求の概要 ――― 7

“先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に —— 水土里の絆 復興の歩み”

第41回全国土地改良大会 宮城大会

第41回全国土地改良大会宮城大会が10月16日宮城県総合運動公園（グランディ 21）において開催されました。「先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み」を大会テーマに掲げ、全国から約6,000名を超える土地改良関係者が参集して行われました。本県からは保坂会長他、役員、土地改良区、県、市町村、本会から53名が参加しました。

大会式典オープニングセレモニーでは、伊達武将隊が見参。仙台の魅力、農業の大切さを語り、「さんさ時雨」に乗せて演舞を披露し力強く幕開けしました。開催県挨拶では、宮城県土地改良事業団体連合会伊藤康志会長より、東日本大震災から7年、被災地がどのように復興してきたかご覧いただき、今大会が全国各地で頻発する災害からの復旧復興への決意を新たにする契機となるよう祈念し、挨拶をいただきました。

また、全国土地改良事業団体連合会二階俊博会長より、引き続き「闘う土地改良」を旗印に更に前進しようと挨拶をいただきました。宮城県村井知事の歓迎の挨拶では、農業農村の果たす役割の重要性と、

宮城県の豊かな自然と多彩な食材を堪能していただきたいと述べました。その後、農林水産省小里副大臣、宮城県選出衆議院小野寺議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 参議院進藤金日子議員より来賓祝辞を頂きました。進藤議員は挨拶の中で予算の問題や土地改良法を巡る様々な課題解決に向け具体的に考え訴えていくべき役割がある。皆様方と一緒に頑張りたいと決意を述べられました。また、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 宮崎雅夫氏を座長として「東日本大震災における創造的復興への軌跡」をテーマに基調報告がおこなわれました。土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰46名が表彰されました。本県からは、土地改良事業に対する長年の功績が認められ、全国土地改良事業団体連合会長表彰に楯無堰土地改良区常任理事有泉光夫様が受賞の榮譽に浴されました。

第42回全国土地改良大会は“清流で未来をうるおす土地改良 水土里の恵みを新たな世代へ”をテーマに平成31年10月16日に岐阜県岐阜市で開催されます。



二階全土連会長 主催者挨拶



山梨県からの参加者



進藤議員 来賓祝辞



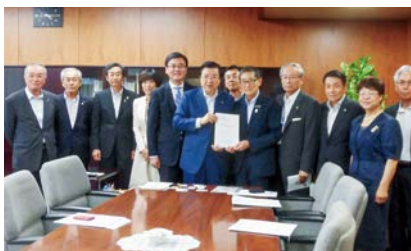
楯無堰土地改良区有泉常任理事（中央）
全土連会長表彰受賞

山梨県農業農村整備推進協議会要請活動

山梨県農業農村整備推進協議会 会長 田辺 篤（甲州市長）は、事業計画により8月2日（木）に自民党、公明党、財務省、農林水産省、及び県選出国會議員等へ農業農村整備事業関係予算の確保へ向けて要請活動を行いました。過疎化が進む県内の中山間地域が安心して農業を続けられるよう、農道や排水路の整備、鳥獣被害を防ぐ柵の設置、農村地域の防災・減災対策に向けた予算の確保等を強く要請しました。



岸田文雄 自民党政務調査会長



磯崎陽輔 農林水産副大臣



金田勝年 自民党幹事長代理



佐藤英道 公明党農林水産部会長



森田稔 財務省主計官



室本隆司 農林水産省農村振興局長



県選出国會議員

要 旨

我が国の農業は、成長産業化が求められる一方、担い手の高齢化や減少、耕作放棄地の増加、日 EU・EPA 交渉の発効などを見据えた経済の国際化など重大な課題に直面しており、農業・農村の体質強化による強い農林水産業の構築が強く求められています。

このような中、国においては、平成30年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」において、攻めの農林水産業を展開し、成長産業化を推進するとともに、美しく伝統ある農山漁村を次世代に継承し農業者の所得向上を図るため、農地の活用・維持・保全等を強化する土地改良事業の一層の推進が昨年に引き続き掲げられたこと、また改正土地改良法の成立により、農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の申請・同意・費用負担によらず、都道府県が基盤整備事業を実施できる制度が創設されたことなどは、農業農村整備事業を推進する私どもにとって大変心強い限りであります。

山梨県におきましても、平成27年12月に策定した農業振興の基本指針「新・やまなし農業大綱」に基づき、「地域の魅力の原動力 やまなし農業」の実現を目指し、

○高品質・販路開拓による儲かる農業の展開

○活気に満ちあふれた農山村の創造

に取り組んでおり、生産の効率化、農地の有効活用など、各種施策を積極的に進めているところであります。

山梨県農業農村整備推進協議会といたしましても、国、県の動きに呼応し、本県の農業・農村の維持、発展に向けて、農業農村整備事業のより一層の推進に全力を傾注していく所存でございますので、次の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1. 平成30年度、平成31年度農業農村整備事業関係予算の十分な確保について
2. 中山間地域の集落機能・地域資源維持への支援について
3. 農村地域の防災・減災対策の安定的な予算の確保について

平成30年度

山梨県農業農村整備推進協議会 表彰式及び総会

6月1日セレス（アピオ）甲府において、平成30年度山梨県農業農村整備推進協議会表彰式及び総会を開催しました。当協議会は、県内各市町村、土地改良区、農業協同組合等が実施する農業農村整備事業の推進について、会員相互の連携を図るとともに、調査・研究・協議等を行い事業の円滑な施行を図ることを目的としています。

当日は、山梨県農政部 清水技監他、各農務事務所幹部を来賓に迎え、会員約30名が出席する中で開催されました。表彰式では、農業農村整備事業、農地集団化事業等について成績顕著にしてかつ他の模範となる者を賞し、今年度は団体の部から、西沢堰土地改良区様が受賞されました。「県営ため池等整備事業 西沢堰地区」の実施にあたり、地域の受益者は元より、新住民などの調整役等で中心的な役割を担い積極的に事業推進に取り組み事業の円滑な実施に寄

与されました。個人の部から南部町水道環境課 課長 望月一臣様、畑地帯総合整備事業 日川右岸地区推進委員会委員長 駒田修様が表彰されました。望月様は、中山間地域総合整備事業「南部地区」の事業実施に向けて、地域の取りまとめ等の地元調整に取り組むかたわら、基盤整備促進事業など、長年にわたり南部町の農業農村整備を推進し、農業及び農村の振興に努められました。駒田様は、畑地帯総合整備事業「日川右岸地区」の実施において、推進委員長として10年間の長期にわたり、事業推進に尽力されました。

続いて総会では、平成29年度事業、決算報告に続き平成30年度事業計画、会費の賦課徴収の基準、収支予算について審議され全員一致で承認されました。

協議会では事業計画として自民党、公明党、財務省、農林水産省、県選出国會議員に対して精力的に農業農村事業関連予算確保等の要請活動を行って参ります。



山梨県農政部清水技監 来賓挨拶



西沢堰土地改良区 様



南部町 水道環境課 課長 望月 様



日川右岸地区推進委員会 委員長 駒田 様

農業農村整備の集い

6月13日東京都平河町砂防会館シエーンパッハ・サボーにおいて、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の主催で、「農業農村整備の集い」が開催されました。山梨からは会員土地改良区理事長等20名が出席しました。この集いは、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応するべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催するものです。全国から土地改良関係者ら約1,200名が参加し、農業農村整備事業の推進を訴えました。

二階全土連会長は主催者の挨拶の中で、平成30年度当初予算と平成29年度補正予算を合わせて5,800億円もの予算を獲得し、民主党政権下で大幅に削減される前の水準に戻した。しかし農業農村の発展のためにはやるべき事がまだまだたくさんある。闘う土地改良は際限なく続く、と述べられました。続いて、齋藤健農林水産大臣は来賓祝辞の中で、土地改

良事業の一層の推進を図ると共に予算確保に全力で取り組む旨を述べられました。続く事例発表では東日本大震災からの復旧、復興とほ場の大区画整備を進め効果を上げる宮城県の仙台東土地改良区から発表がありました。要請案文は全会一致で採択され、最後に一同でガンパロウ三唱を行い、集いは盛会裏に終了しました。



二階全土連会長 主催者挨拶

平成30年度 第1回農業農村整備技術研修会

6月15日山梨県自治会館講堂において、平成30年度第1回農業農村整備技術研修会を開催しました。この研修会は山梨県土地改良事業団体連合会、山梨県建設業協会、山梨県土地改良技術協議会の3団体による共催で、農業農村整備事業の関係者を対象に国や県の情報や新しい技術の提供などを目的としています。主催団体の会員をはじめ、県や市町村の職員ら約250名が参加しました。

共催者挨拶として、山梨県土地改良事業団体連合会 渡邊専務理事、山梨県建設業協会 櫻井副会長、山梨県土地改良技術協議会 古屋会長が挨拶を述べ、山梨県農政部 清水技監より来賓の挨拶をいただきました。

講演は、山梨県農政部耕地課 山田課長による「山梨県の農業農村整備事業に係る施策について」、山梨県東部家畜保健衛生所 防疫薬事課 相川課長による「家畜伝染病発生時の対応について」、最後に東京農工大学大学院 農学府 国際環境農学専攻 向

後教授による「不飽和な土の土質力学」～雨降って地固まると地盤が緩むの話を中心にして～の講演を行いました。この研修で得た最新の情報を参考に、農業農村整備事業の技術者の更なる技術力向上に役立てばと思います。



山梨土連渡邊専務理事 主催者挨拶

平成30年度 土地改良区等役職員研修会

7月10日山梨県自治会館研修室において、平成30年度第1回土地改良区等役職員研修会を開催しました。土地改良法の改正についての講義がメインとなる今回の研修会には、約70名の改良区役職員が出席する中で行われました。

主催者挨拶として、当会保坂武会長（甲斐市長）が日頃のご支援と研修会参加の御礼を述べました。その後、山梨県農政部耕地課山田課長より来賓の挨拶を頂きました。続いて全国都道府県土地改良連

合会会長会議顧問 宮崎雅夫様より、来賓祝辞を頂くとともに「農業農村整備の今後の展開方向」と題して農業農村整備事業に関する講演を頂きました。

研修では、農林水産省 農村振興局整備部 土地改良企画課 団体指導専門官 高嶋弓子様より「土地改良法の改正について」講義を頂きました。

今後の土地改良区の課題に触れ、各種実務の参考となる研修会となりました。

土地改良法の一部を改正する法律案の概要

背景

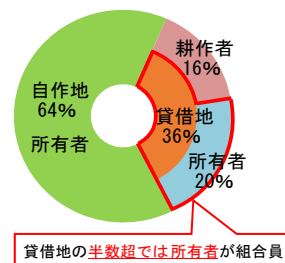
- 組合員の高齢化による離農や農地集積の進展に伴い、土地改良区の中で土地持ち非農家が増加し、土地改良施設の維持管理や更新等が適切に行えなくなるおそれ。耕作者の意見が適切に反映される事業運営体制に移行していくことが必要。
- 組合員数や職員数の減少により、土地改良区の業務執行体制が脆弱化する中で、適正な事業運営を確保しつつ、より一層の事務の効率化が必要。

法律案の概要

1. 土地改良区の組合員資格に関する措置

- 所有者から耕作者への資格交替に係る農業委員会の承認制の廃止（届出制の導入）（第3条第2項）
 - 農地中間管理機構が農地の貸借を行う場合の資格得喪通知の手続簡素化（第43条第3項）
 - 貸借地の所有者又は耕作者で事業参加資格がないものに准組合員^{※1}の資格を付与（第15条の2から第15条の4まで、第32条第4項及び第36条第2項）
- ※1 議決権・選挙権を有しないが、総会に出席して意見を述べる事が可能。また、組合員との間で賦課金・夫役の一部を分割して負担することが可能。
- 理事の5分の3以上は原則として耕作者たる組合員（第18条第5項）
 - 利水調整規程を策定し、利水調整をルール化（第30条第1項第2号及び第57条の3の2）
 - 地域住民を構成員とする団体に施設管理准組合員^{※2}の資格を付与（第15条の2から第15条の4まで、第32条第4項及び第36条の2）
- ※2 議決権・選挙権を有しないが、総会に出席して意見を述べる事が可能。また、土地改良施設の管理への協力を求めることが可能。

【自作地・貸借地と組合員の構成】



【農家と土地持ち非農家の戸数比】
（農家：土地持ち非農家）

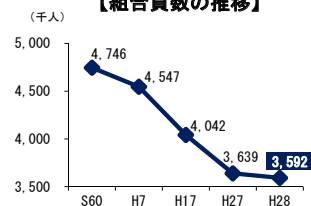
9 : 1
（昭和60年）

6 : 4
（平成27年）

2. 土地改良区の体制の改善に関する措置

- 総代会制度の見直し（第23条）
 - ・ 総代会の設置要件を組合員200人超から100人超に引下げ
 - ・ 総代選挙について選挙管理委員会による管理を廃止
 - ・ 総代の書面・代理人による議決権行使を導入
- 土地改良区連合の事業範囲を運営事務・附帯事業に拡大（第77条）
- 決算関係書類として、収支決算書に加え、原則として貸借対照表を作成し、決算関係書類の作成・公表に係る手続規定を整備（第29条の2）
- 監事のうち1人以上は原則として員外監事（第18条第6項）

【組合員数の推移】



換地計画実務研修会

6月22日山梨県自治会館研修室において、平成30年度換地計画実務研修会を開催しました。研修会には県農政部職員、県内市町村職員、土地連職員など約70名の出席がありました。

研修会では、始めに主催者として本会渡邊専務理事より挨拶があり、続いて山梨県農政部山田耕地課長より来賓の挨拶を頂きました。

午前中は、山梨県農政部福岡副参事による「土地改良法の改正について」、山梨土連堀口指導監による「換地業務のながれについて」講義がありました。また、午前中から午後にかけて、「土地改良法・換地理論」と題して全土連換地センター浦山所長より、講義を頂きました。

山梨県内では現在、峡東地区を中心とする果樹産地でのほ場整備や品目別団地化、北巨摩地区の大規模企業誘致等を計画している中、今回の研修は換地

の基礎的な手続きや法律、理論などについて学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。



浦山所長による講習

やまなし水土里ネット女性の会 総会

8月10日、甲府市古名屋ホテルにおいてやまなし水土里ネット女性の会第2回総会が開催されました。この会は、農業農村整備関係に携わる水土里ネット女性職員が交流を深めることにより、情報の提供及びスキルの向上を目指し、意識の高揚、地位向上することを目的としています。

県内各地から関係者約20名が出席する中で開催されました。遠藤会長（上野原土地改良区）は冒頭の挨拶で、2年目を迎えた本年度は、研修会や勉強会に加え土地改良大会や農業農村整備の集いなどの全国的な集会に参加するなどして本格的に始動したいと述べました。来賓挨拶では全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問宮崎雅夫様から、他県の土地改良情勢等に触れながら、女性の視点からの新たな提言を寄せて頂き、国政に反映したいと述べられました。顧問挨拶として、山梨県土地改良事業団体連合会保坂会長より、会員同士の連携を図り、女性の感性と視点を活かし本県の農業農村の発展のため、活躍してもらいたいと激励のことばを、同じく山梨県柵木副知事より、自身の経験を踏まえ、女性同士の横の繋がりにより情報交換等が出来たこと、互いに

切磋琢磨してきたことなどを語られ、挨拶をいただきました。議事では、平成30年度予算、活動計画などが諮られました。

なお、本会総務課 萩原課長が4月24日、砂防会館において開催されました全国水土里ネット広報女性部会総会において会長に就任いたしました。



農業農村整備関係の平成31年度予算概算要求の概要

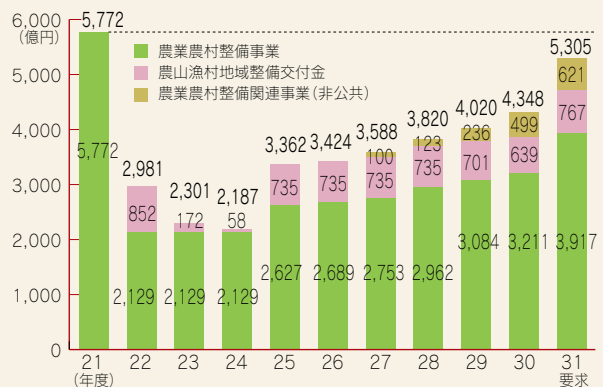
農林水産省は8月31日、平成31年度農業農村整備事業関係予算の概算要求額を対前年度予算比122%、5,305億円に決定しました。このうち、農業農村整備事業については、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地集積の加速化・農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や水路のパイプライン化、水路・ため池等の農業水利施設の長寿命化や豪雨・耐震化対策等を推進するため、前年度比22%増の3,917億円が計上されている。

平成31年度予算概算要求額

| (単位：億円) | | |
|---|-------------|--------------------|
| 区 分 | 30年度 予算額 | 31年度 概算要求額 A |
| 農業農村整備事業（公共） | 3,211 | 3,917 (122.0%) |
| 農山漁村地域整備交付金 （農業農村整備分） | 639 | 767 (120.0%) |
| 農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業〕 〔農業水路等長寿命化・防災減災事業〕 | 499 | 621 (124.6%) |
| 計 | 4,348 | 5,305 (122.0%) |

※（ ）内は前年度比

農業農村整備事業関係予算(当初)の推移



(単位：億円)

| | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 要求 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 当初予算 | 5,772 | 2,981 | 2,301 | 2,187 | 3,362 | 3,424 | 3,588 | 3,820 | 4,020 | 4,348 | 5,305 |
| 農業農村整備事業（公共） | 5,772 | 2,129 | 2,129 | 2,129 | 2,627 | 2,689 | 2,753 | 2,962 | 3,084 | 3,211 | 3,917 |
| 農山漁村地域整備交付金（公共） | — | 852 | 172 | 58 | 735 | 735 | 735 | 735 | 701 | 639 | 767 |
| 農業農村整備関連事業（非公共） | — | — | — | — | — | — | 100 | 123 | 236 | 499 | 621 |

| | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|-----------------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|-------|------|
| 補正予算 | 48 | 150 | 523 | — | 2,540 | 800 | 193 | 990 | 1,752 | 1,452 | ... |
| 農業農村整備事業（公共） | 48 | 150 | 279 | — | 1,640 | 800 | 158 | 990 | 1,580 | 1,370 | ... |
| 農山漁村地域整備交付金（公共） | — | — | 244 | — | 900 | — | 36 | — | — | — | ... |
| 農業農村整備関連事業（非公共） | — | — | — | — | — | — | — | — | 172 | 82 | ... |

※ 計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

行事予定表

| | | | |
|-------|--------------------------------|-------|-----------------------------------|
| 11/14 | 農業農村整備の集い 砂防会館 | 11/30 | 第2回農業農村整備技術研修会 自治会館講堂 |
| 11/18 | 第11回やまなし農業・農村シンポジウム アイメッセ山梨 | 12/20 | 第3回やまなし水土里を育む集い (多面的表彰式) 県立文学館 |
| 11/27 | 第2回土地改良区役職員研修会 自治会館研修室 | | |



山梨の土地改良 VOL.171

発行：平成30年11月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174
URL: <http://www.yamanashi-doren.or.jp>
E-mail: syomu@yamanashi-doren.or.jp

